



例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

RI 会長メッセージ

TEL:0263(73)2901

FAX:0263(72)3181

E-mail : azumirc@poppy.ocn.ne.jp

持続可能な インパクトを 生み出そう

会 長 ニ木 正之 幹 事 丸山 慶四郎

R.I 会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ (トランス・アマディ RC)

ガバナー 橋上 信久 (飯田南 RC)

中信第一グループガバナー補佐 竹内 直彦 (大町 RC)



★ 配布 ・幹事報告 No.2 ・第1回理事会報告

★ ロータリーソング ・奉仕の理想

★ ゲスト・ビジターのご紹介

・松本南ロータリークラブ 会長 飯沼新吾 様

・七尾みなとロータリークラブ パスト会長 姥浦昭二 様

★ 会長挨拶

【ニ木正之会長】

皆さん、こんにちは。

本日もご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて本日は、お二人の大切なお客様をお迎えしております。

松本南ロータリークラブ会長

飯沼 新吾様 七尾みなとロータリークラブ パスト会長 姥浦 昭二 様 ようこそ、あづみ野ロータリークラブへお越しくださいました。会員を代表して、心より歓迎申し上げます。松本南ロータリークラブは、当クラブの親クラブとして、創立以来、多くのご指導と温かいご支援を賜ってまいりました。改めて深く感謝申し上げます。

また、七尾みなとロータリークラブは、当クラブの友好クラブとして、これまで変わらぬ友情を育み、交流を続けていただいております。

このご縁をこれからも大切に、互いに学び、支え合える関係を末永く築いてまいりたいと思っております。

今年度まだ2回目の例会ではございますが、すでに次年度に向けた大きな取り組みが始まります。

それは、当クラブが主幹を務めるRYLAです。

今後、実行委員会を立ち上げ、本格的な準備を進めてまいります。

RYLAは、一部の委員会だけで成功するものではなく、クラブ全員の力があってこそ成功する事業です。

会員一人ひとりが、それぞれのお立場で知恵を出し、汗をかき、支え合うことで、初めて『あづみ野ロータリークラブらしいRYLA』が実現します。

地区の皆様から、『あづみ野クラブが主幹で本当に良かった』と言っていただけるようなRYLAを、皆様と力を合わせて創り上げてまいりましょう。

本日の例会が、親睦を深め、互いに学び合う有意義な時間となりますことを願っております。

飯沼会長、姥浦パスト会長におかれましては、どうぞごゆっくりお過ごしいただき、忌憚のないご助言を賜れば幸いです。

それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

★ 幹事報告

【丸山慶四郎幹事】

別紙参照



◇出席報告

会員総数 17 名 出席免除会員数 1 名	
本日の出席率	前々回(6月17日修正出席率)
出席者: 12 名	欠席者: 4 名
欠席者: 4 名	メーキャップ: 1 名
出席率: 75%	出席率: 82%

★ ニコニコ BOX 報告 (敬称略・順不同)

飯沼(松本南 RC):本日はお世話になります。

姥浦(七尾みなと RC):本年4月の貴クラブ創立40周年記念式に出席させて頂き有難う御座いました。

私達のクラブは9月6日に創立40周年記念大会を予定しております。ご都合の許す方には是非ご来臨下さいます様お待ち致しております。

本日は当地への旅行の途中、寄らせて頂きました。

二木：松本南ロータリークラブ 会長飯沼様
七尾みなとロータリークラブ パスト会長姥浦様
ご来訪ありがとうございます。

丸山(慶)：松本南ロータリークラブ 会長飯沼新吾様を
お迎えして 宜しくお願い致します。

赤羽：松本南クラブ飯沼会長 七尾みなとクラブ姥浦パスト
会長をお迎えして。藤森さんの卓話楽しみです。

小穴：お暑うございます。松本南 飯沼会長、七尾みなと
姥浦様 ようこそ安曇野へ

笠原：七尾みなと RC 姥浦様 南クラブ会長様 猛暑のなか
ご苦労さまです。

下里：ゲストをお迎えして

中村：松本南 RC 飯沼会長、七尾みなと RC 姥浦パスト会長
をお迎えして！

濱：二木年度初出席です。宜しくお願いします。
ゲストの皆様ようこそ!!

場々：飯沼会長、姥浦さんをお迎えして

藤森：松本南 飯沼会長 七尾みなと姥浦パスト会長
ご来訪に歓迎感謝いたします。
本日は耳障りな時間帯はご容赦ください。

丸山(隆)：七尾みなと RC 姥浦様をお迎えして

三原：松本南 RC 会長飯沼様、七尾みなと RC 姥浦様
ようこそ お出掛け下さいました

[計 14 件 51,000 円]

今年度のニコニコ BOX 計 84,000 円

【 下里守クラブ奉仕委員 】



【小穴実 SAA 委員長・笠原明仁プログラム委員長】



中村忠会員に二木会長より認証襟ピン贈呈
マルチプル・ポール・ハリス・フェローPHF+2

★本日のプログラム

◇親クラブご来訪

松本南ロータリークラブ 【会長 飯沼新吾様】ご挨拶
皆さん、こんにちは。

松本南ロータリークラブ、本年度会長
を務めます飯沼新吾です。

幹事は出井弁護士ですが、少々都合
がつかず今回は失礼いたします。

本日は新年度のご挨拶に伺いました。

二木会長、丸山幹事をはじめ、会員の
皆様には、このような機会をいただき、ありがとうございます。
す。

まずは、昨年度、創立 40 周年という大きな節目を迎えられ
ましたこと、心よりお祝い申し上げます。

あづみ野ロータリークラブは松本南ロータリークラブの子ク
ラブですが、40 歳ともなると、もう立派な大人ですね。

いや、ロータリーでは 40 歳は、まだまだ若手かもしれません
が。(笑)

私があづみ野ロータリークラブを特にすごいと尊敬している
のは、青少年奉仕への取り組みです。

2 年前のインターアクト地区大会では、松本工業高校と南安
曇農業高校が共同ホスト校となり、本当に素晴らしい大会に
なりました。

あれは両クラブが、「子どもたちのためなら一緒にやろう」と
いう思いを一つにできたからこそ成功だったと思っています。
す。

また、藤森さんを中心に米山奨学生のカウンセラーを長年
務めておられ、さらに来年度は RYLA の主幹事も務められ
ると伺っています。

インターアクト、米山奨学、そして RYLA。

本当に青少年奉仕がお好きなクラブなんですね。(笑)ウチ
もこれからローターアクトクラブを立ち上げますので、お互
い様かもしれませんけど...

実は私も、地区幹事を務める前に地区インターアクト委員長
を経験しました。

ですから、青少年奉仕がどれほど時間と手間のかかる活動
か、少しは分かっているつもりです。

子どもたちは未来への投資です。

すぐに成果が見える活動ではありませんが、10 年後、20 年
後に「あの時ロータリーに出会えて良かった」と思ってくれる
若者が一人でも増えたら、それがロータリーにとって一番価
値のある奉仕ではないでしょうか。

さて、今年度 RI 会長ババラさんのメッセージが Create
Lasting Impact,,そして橋上 G のメッセージが Come
back to 信州、これは奉仕活動が一時の花火のようなもの
ではなく、何年先にも影響があるものに、結果として若者



が信州に戻ってきたくるようになろうというそんな願いがこめられていると理解しています。

ちなみに皆さんは安曇野市の R7 の出生数はご存じですか、答えは 585 人です。そしてこのうちの何割かは都会にいったまま帰ってこない。これでこの地域の経済は成立するのでしょうか。

そこで今年度、松本南ロータリークラブのテーマは、「このまちと、もっとつながる。」

です。本当は「このまちを、もっと良くする」かもしれませんが、それは市長の役割なので、もう少し足元をしっかりと見据えて「このまちと、もっとつながる。」としました(笑)

私は、その「つながる」の中には、未来を担う子どもたちや若者たちとのつながりが一番のつながりかと思っています。

奉仕活動としては 11/3 の市民祭のときに防災のテントを出展し、IA と RA とともに活動をしますので、よろしければ松本伊勢町の方にお越しください。

また前期末に5名の退会者がでてしまいましたので、なんとか増強をしていきたいと意気込んでおります。

最後に一つだけ。

私は、クラブの力は会員数では測れないと思っています。

どれだけ多くの若者に夢やきっかけを届けてきたか。

その積み重ねこそが、クラブの本当の財産ではないでしょうか。

あづみ野ロータリークラブは、そのことを実践されているクラブだと感じています。

今年一年も、お互いに刺激し合いながら、未来を担う若者たちと一緒に応援していければ幸いです。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

※当日、令和7年の安曇野市の出生数を492人とお伝えしてしまいましたが、再度確認したところ585人の誤りでした。お詫びと訂正させていただきます。

ちなみに松本市は1,322人、塩尻市453人、大町市は119人です。

いずれも衝撃的に少ないと思います。



当日、ビジターとしてお越しいただいた友好クラブである七尾みなとロータリークラブの姥浦昭二様より、ご挨拶をいただきました。友好クラブとしての温かいお言葉を頂戴し、会員一同、親睦を深める貴重な機会となりました。

◇会員卓話

【 藤森康友会員 】

「バスケットボール国際大会に出場して」

会員卓話では、「バスケットボール国際大会に出場して」と題し、フィンバ(FIMBA)バスケットボール・ギリシャ大会に出場した際の貴重な体験についてお話しいただきました。

現地の街並みや試合会場、世界各国の選手との交流、試合の様子などを写真で紹介していただきながら、大会の雰囲気や国際交流の素晴らしさを臨場感たっぷりに伝えていただきました。競技を通じて世界中の仲間と交流を深めた体験や、挑戦し続けることの大切さなど、多くの学びと感動を共有していただき、会員一同、大変有意義な卓話となりました。





